

日本青年会議所 建設部会  
2018年度 副部長 所信

副部長（九州沖縄地区担当） 松本 力

やりきる気持ちと覚悟があれば何でもやれる。

私が初めて3Kという言葉聞いたのは小学生の頃、先生の言葉でした。

「きつい・きたない・きけん」の3Kは当時の自分のモチベーションをものすごく下げたのを思い出します。何も悪いことをしていないのに、社会から下に見られている感覚に陥りました。しかし、見返してやる気持ちが生まれた瞬間でした。私は家業である防水業に幼いながらも誇りをもっていました。なぜなら、父が家族のために体一つで創めた仕事であったし、厳格な父の力強く仕事に励む姿勢がすごく大きかったからである。そのような状況下で育てていただき、私たちが受け継ぐ平成の時代にこれから何を残せるのか、何を信じこれからの未来に立ち向かうのかを真摯に考える必要があります。

それには、日々の日常に感謝し、情熱をもって使命と責任感を兼ね備えた経営者としての働き方を今一度見つめ直す時期だと考える。そしてその先には、建設業を通して日本を元気に、そしてユーザーの事を考える仕事をし、未来に残す誇りある仕事をするのが大切である。また、建設業を営む経営者として建設業の未来を見据えるべく3K（給与・休日・希望）を根本的に変え現実的に受け入れる事が必要になります。

時代の変化に対応することで、人手不足であるこの業界もものづくりの楽しさや大切さは残っていると信じて、魅力ある業界になると信じます。共に歩み進化するために我々は率先して行動をして参りましょう。